

洞北中学校コアスクール事業研究主題

主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造
～3つの視点「話す」「書く」「発表する」を中心に据えた洞北中スタンダードの確立～

若松・戸畑・八幡東区ブロック研究主題

言葉の力を高める国語科教育の創造 ～対話的な学びを重視した国語科学習指導の工夫～

1. 単元名 論理を捉えて 根拠を明確にした説得力のある表現を学ぶ
2. 教材名 根拠を明確にして意見を書こう 意見文を書く

3. 指導観

- 全国学力学習状況調査から

本年度の全国学力・学習状況調査の問題別調査結果の正答率をみると、本校は全国、福岡県と比べ、次のような結果になっていた。

全国、福岡県と比べ、特に正答率の高かった問題

	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
国A	5二	新聞紙の製造工程の一部を言い表した ものとして適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
国B	1三	「天地無用」という言葉を誤った意味で 解釈してしまう人がいる理由を書く	目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く

全国、福岡県と比べ、特に正答率に課題がみられる問題

	問題番号	問題の概要	出題の趣旨
国A	2二	二つの意見の内容を一文で書き加える	伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く
国B	2三	ロボットに期待することを述べて発表 をまとめる際の話の進め方として適切 なものを選択する	全体と部分との関係に注意して相手の反応を見ながら話す

このことから、2年生「書くこと」の学習で次のような目標を立て、授業で実践することにした。

2年生「書くこと」の学習において、「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」活動と「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」活動を取り入れ、「伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く」力を伸ばす。

○ 本校・若戸東ブロックの研究主題から

本校の研究主題「主体的・対話的で深い学びを実現する授業の創造～3つの視点「話す」「書く」「発表する」を中心に据えた洞北中スタンダードの確立～」と、若戸東ブロックの研究主題「言葉の力を高める国語科教育の創造 ～対話的な学びを重視した国語科学習指導の工夫～」に即して、「話す」「書く」「発表する」活動を通して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めていく。

○ 本教材は、『意見』を述べるとは、『自分の考えを、それをしっかり支える理由や根拠に基づいてわかりやすく筋道立てて読み手に伝えることである』ということを理解させる」という意図がある。また、サンプル文を構想メモに書き直す活動を取り入れ、明確な意見文を書くための要素を捉えさせることもできる。このことから、本教材は「文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える」活動と「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」活動を取り入れ、「伝えたい事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように書く」力を伸ばすことが期待できる。

○ 指導に当たっては、完成した意見文を西日本新聞「ひまわり」に投稿するという目標を立て、生徒に「書いてみよう」という気持ちとその為の見通しをもたせる工夫をしていく。また、サンプル文を構想メモに書き直すグループ活動を取り入れ、分かりやすい意見文とは、意見を支える根拠が明らかであること、反論を予想してそれに対する自分の考えを書くことで、説得力のある意見文を書くことができることに気付くことができるようにする。サンプル文は、教科書 P171Bの例を示し、意見文の全体像について具体的にイメージをすることができるようにする。

4. シビック・プライドの観点から

○ 意見文のテーマを「SDGs 世界を変えるための17の目標」から一つ選び、「自分が取り組みそうなこと」について書くことを通して、「SDGs 未来都市・北九州市」の取組を身近なものとして捉え、北九州市をより住みやすくするために考えることができる生徒の育成を目指す。

5. 本單元における主体的・対話的で深い学び、学習評価の工夫

○ 主体的・対話的で深い学びの工夫について

生徒が主体的に学ぶことができるよう、完成した意見文を西日本新聞「ひまわり」に投稿するという目標を立て、生徒に「書いてみよう」という気持ちとその為の見通しをもたせる工夫をしていく。また、対話的な学びを実現させる為に、サンプル文を構想メモに書き直すグループ活動を取り入れ、生徒同士の考え方を手掛かりに考えることを通じ、自己の考えを広げ深めさせる工夫をする。そして、「活動の目標を確認し、学習の見通しをもつ」「集めた情報を中心に、自分の意見を支える根拠を検討する」「サンプル文を構想メモに書き起こし、分かりやすく伝わる意見文を書くためには、自分の意見を支える根拠が必要であることに気付き、自分の構想メモ作りに生かす<本時>」「構想メモに従い、意見文を書く」「意見文を読み合い、意見、根拠、反論の検討による意見の深まりなどについて話し合う」活動を通して、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」の実現を目指す。

○ 学習評価の工夫について

学習評価については、各時間のねらいに迫るキーワードとなる言葉や観点を決め、授業後の振り返りをワークシートに書くようにする。それを基に、指導と評価の一体化を図るため、学習の理解ができていないかを見取る。

6. 特別な教育的支援を要する児童・生徒に対する指導上の工夫・手だて

困難さ	手だて	番号
自ら設定した課題について、意見や根拠を明確にしなが、主体的に取り組むことが困難	西日本新聞に投書することを示し、学習の見通しをもつことができるようにする。	①
課題に関する情報を集め、自分の意見を導き出すことが困難	サンプル文から構想メモを作る活動を通して、情報を整理して自分の意見を導き出すことができるようにする。	②

7. 教材の目標 【現行学習指導要領 解説国語編 領域別内容】

関心・意欲・態度	・自ら設定した課題について、意見や根拠を明確にしなが、主体的に取り組もうとしている。
書くこと	・社会生活の中から課題を決め、多様な方法で情報を集め、伝えたい事実や事柄を明確にし、文章の構成を工夫することができる。 【ア・イ】 ・自分の意見と根拠を明確にして意見文を書き、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係などに注意して、推敲することができる。 【ウ・エ】
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・文の中の成分の順序や照応、文の構成などについて考えることができる。 【イ(ウ)】

8. 指導計画と評価計画（総時数5時間）

	主な学習活動・内容 【現行学習指導要領「書くこと」の指導事項】	指導・支援上の留意点 ★ 特別な教育的支援を要する生徒への特に困難とされる場面での支援	評価規準及び評価方法
第1次	<p>全時間通して、フラッシュカード・フラッシュ画面で四字熟語や新出漢字についての知識を身に付け、語彙を豊かにする。</p> <p>1 活動の目標を確認し、学習の見通しをもつ。 【課題設定】</p> <p>① SDGsについて、意見文の課題を決める。</p> <p>② 課題に関する情報を集め、自分の意見を導き出す。</p> <p>③ 家庭等で情報を集めておく。</p> <p>2 サンプル文から構想メモを書き起こし、分かりやすい意見文を書くためには、自分の意見を支える根拠が必要であることに気づき、自分の構想メモ作りに生かす。 <本時></p> <p>【イ 構成 オ 交流】 サンプル文を3～4人グループで「まなボード」に構想メモとして書き起こし、分かりやすい意見文には自分の意見を支える根拠が具体的に記されていることを共有する。</p> <p>3 集めた情報を中心に、自分の意見を支える根拠を検討する。【課題設定・構成】</p> <p>① 意見を導き出す基になった情報を中心に、意見を支える根拠を考え、構想メモを書く。</p> <p>② 自分の意見や根拠に対する反論を想定し、それに対する意見を考え、構想メモを書く。</p> <p>4 構想メモに従い、意見文の下書きを書く。 【ウ 記述 エ 推敲】</p> <p>① 構想メモに従い、意見文の下書きを書く。</p> <p>② 書いた意見文を推敲する。</p>	<p>○ 西日本新聞に投書することを目標にし、学習の見通しをもつことができるようにする。 ★手だて①</p> <p>○ サンプル文から構想メモを個人で書いたりグループで書き起こしたりして、自分の構想メモ作りに生かすことができるようにする。 ★ 手だて②</p> <p>○ 集めた情報を吟味し、自分の意見を支える根拠を検討することができるようにする。</p> <p>○ 読み手に取って分かりやすい文章になるように意見文を書き、推敲することができるようにする。</p>	<p>【関】 意見文を書くことに興味・関心をもち、進んで意見文を書くための情報を集めようとしている。(発言分析)</p> <p>【書】 自分の意見や根拠に対する反論を想定し、それに対する意見を考え、ノートに構想メモの下書きを書く。 (記述分析)</p> <p>【書】 伝えたいことが分かりやすく伝わる意見文が書けそうな構想メモになるよう、見直しをもつ。 (記述分析)</p> <p>【書】 構想メモを基にして、自分の意見を支える根拠があるか、ノートの下書きを見直したり書き直したりしている。 (記述分析)</p> <p>【書】 読み手にとって分かりやすい文章になるように意見文を書き、推敲している。 (記述分析)</p>

第2次	<p>5. 意見文を読み合い、意見、根拠、反論の検討による意見の深まりなどについて話し合う。</p> <p>【オ 交流】</p> <p>① 推敲した意見文を清書する。</p> <p>② 意見文を読み合い、意見、根拠、反論の検討による意見の深まりなどについて共有する。</p>	<p>○ 意見文を読み合い、意見、根拠、反論の検討による意見の深まりなどについて話し合うことができるようにする。</p>	<p>【書】意見文を読み合い、意見、根拠、反論の検討による意見の深まりなどについて共有している。</p> <p>(記述分析)</p>
-----	---	--	--

9. 本時の学習 平成30年11月27日(火) 第5校時 2年3組教室

- (1) 主眼 **構想メモによるサンプル文の分析を通して、説得力のある意見文を書くためのポイント**について理解することができるようにする。
- (2) 準備 **ワークシート** まなボード **フラッシュ画面用 TV**
- (3) 展開

<p>主な学習活動・内容</p>	<p>○ 指導・支援上の留意点 【観点】評価規準(評価方法)</p> <p>★ 特別な教育的支援を要する児童・生徒への特に困難とされる場面での支援のポイント</p> <p>◎ 「主体的・対話的で深い学び」に関わる留意点</p>
<p>フラッシュカード・フラッシュ画面で四字熟語や新出漢字についての知識を身に付け、語彙を豊かにする。</p> <p>1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p>	<p>○ サンプル文の構想メモと自分の構想メモを見比べて、伝えたいことが分かりやすく伝わるような意見文について考える見通しをもつことができるようにする。</p>
<p>めあて サンプル文を構想メモにし、自分の構想メモ作りに生かそう。</p> <p>課題…伝えたいことが分かりやすく伝わる意見文とは？</p>	
<p>2 サンプル文について各グループで構想メモを「まなボード」に書く。</p> <p>3 「まなボード」を基に、他のグループにサンプル文の構想メモの内容と、伝えたいことが分かりやすく伝わる意見文について説明をする。</p> <p>4 分かりやすく伝わる意見文についてまとめ、全体で共有する。</p>	<p>◎ サンプル文の構想メモをグループで書き起こす活動を通して、自分の構想メモに生かすことができるようにする。★手だて②</p> <p>◎グループの中で説明をする生徒、他のグループの説明を聞く生徒に分けて活動をさせ、サンプル文がなぜわかりやすい意見文なのかを共有することができるようにする。</p> <p>○ 代表グループの発表を聞き、伝えたいことが分かりやすく伝わる意見文とはどのような意見文かについて全体で共有することができるようにする。</p>
<p>まとめ 分かりやすく伝わる意見文を書くためには、構想メモに</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を支える根拠を明確に書く ・反論を想定し、それについての自分の意見を明確に書くことが大切である。 	
<p>5 本時の学習を振り返り、自分の意見を書くための構想メモづくりでは、どんな工夫をするかを書く。</p>	<p>◎ 本時の学習を振り返り、伝えたいことが分かりやすく伝わる意見文が書けそうな構想メモになるよう、見通しをもつことができるようにする。</p> <p>★手だて②</p>